

1. サービス見込量と介護保険料について



加賀市健康福祉部長寿課

令和3年2月4日

サービス量の推計及び介護保険料の算定にあたり、考慮すべき事項

①介護報酬改定(令和3年4月～) (+)

※令和3年度の報酬改定率+0.70%(介護保険サービス全体)

②保険料負担割合(令和3年4月～)

※第1号被保険者の介護保険事業費に占める保険料負担割合は第7期と同じ23%。

③低所得者の保険料軽減(令和3年4月～) (+)

※低所得者の負担軽減のため、所得第1段階から第3段階の方に対する保険料の軽減を第7期より継続して実施。

④小規模多機能型居宅介護事業所の整備方針(令和5年4月～) (+)

※介護人材確保の取り組みを進め、介護人材の状況を見極めたうえで、令和4年度に新規小規模多機能型居宅介護事業所を1か所の公募を行い、令和5年4月に開所する場合を想定。

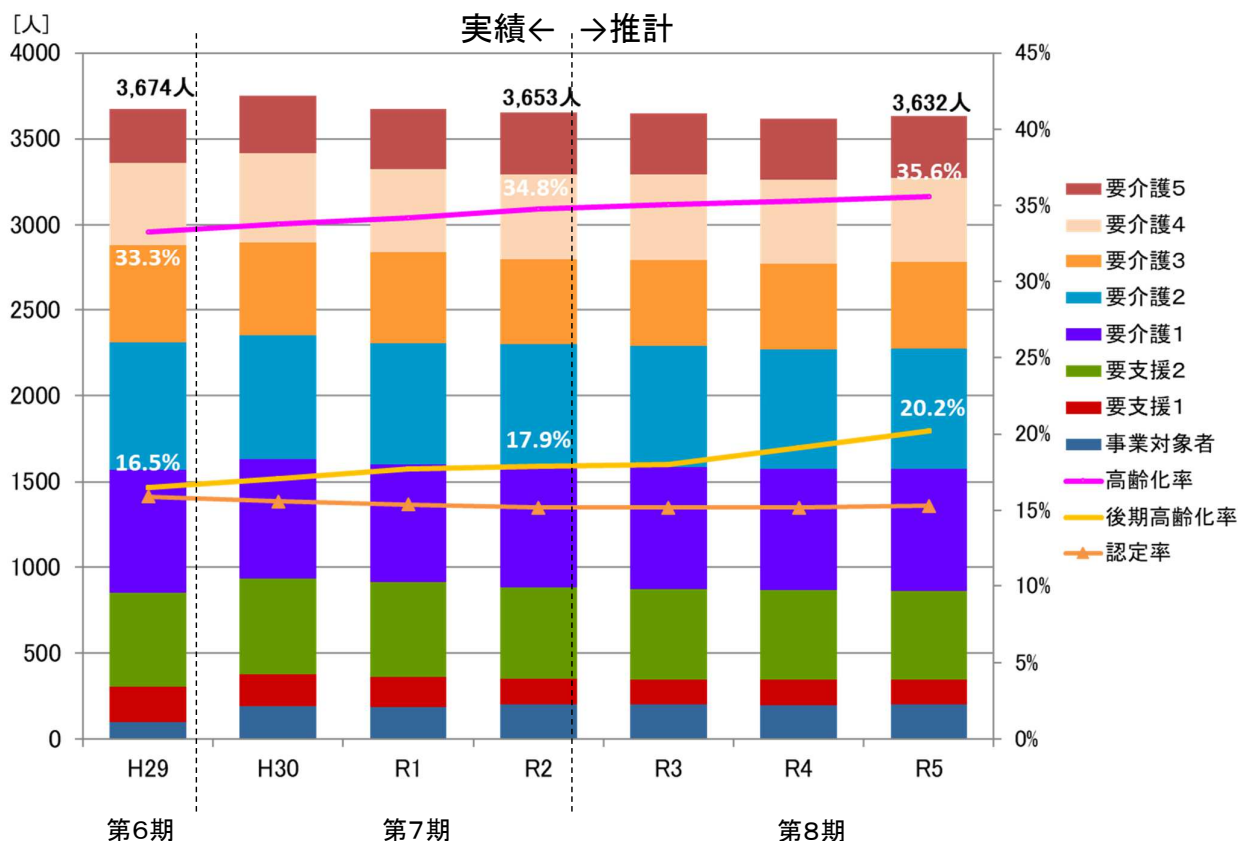
⑤介護予防事業等の成果による認定者数の推移 (-)

※要支援・要介護認定者数の推移について、介護予防事業等の成果を加味する。

※(-): 保険料へ与える影響がマイナス(減額)

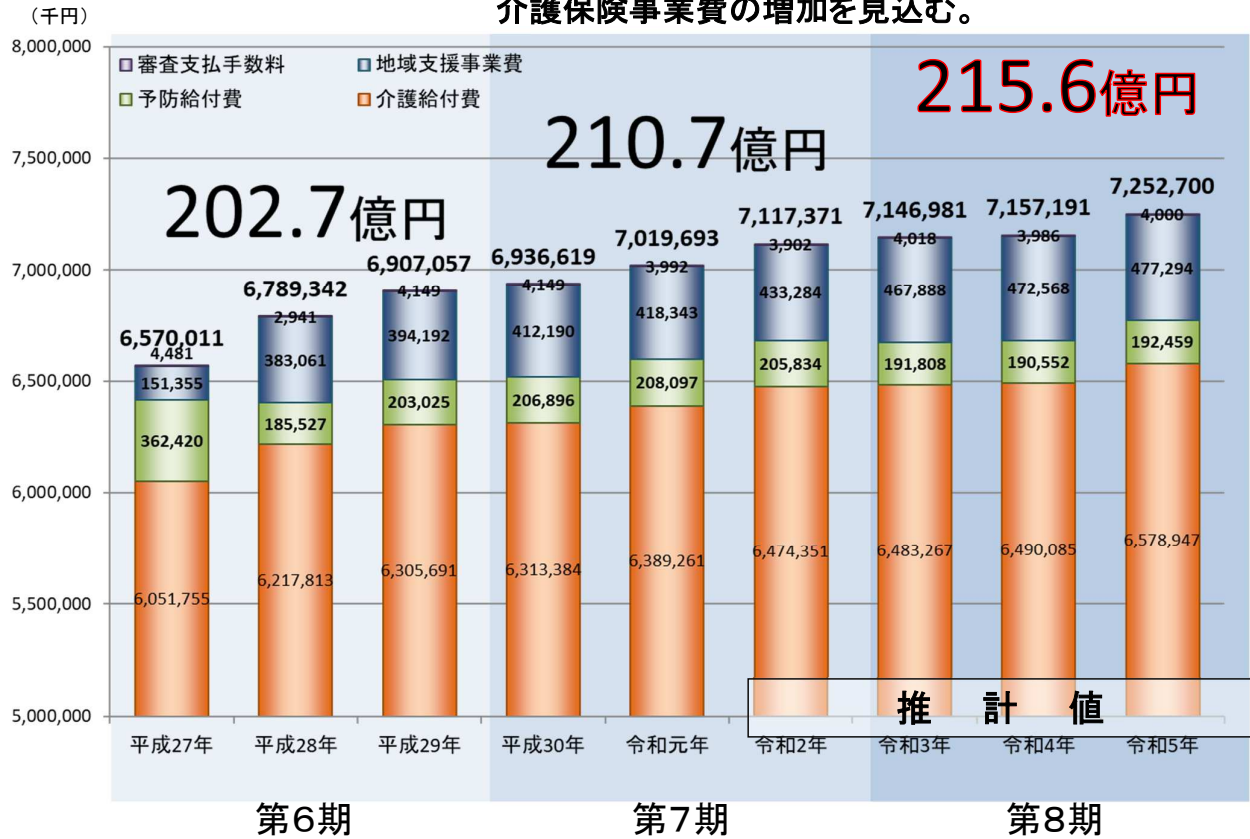
※(+): 保険料へ与える影響がプラス(増額)

要介護認定者数と高齢化率の推移



介護保険事業費の推計

介護報酬の改定や介護サービスの充実等の要因により
介護保険事業費の増加を見込む。

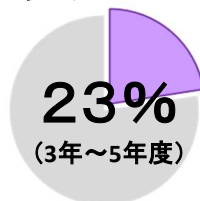


保険料の考え方

今後3年間の
介護保険事業費



65歳以上の
負担分



65歳以上の
延べ人数



＝ 加賀市の保険料

介護保険事業調整基金について

介護保険特別会計の毎会計年度において歳入歳出の決算上生じた余剰金

(単位:千円)

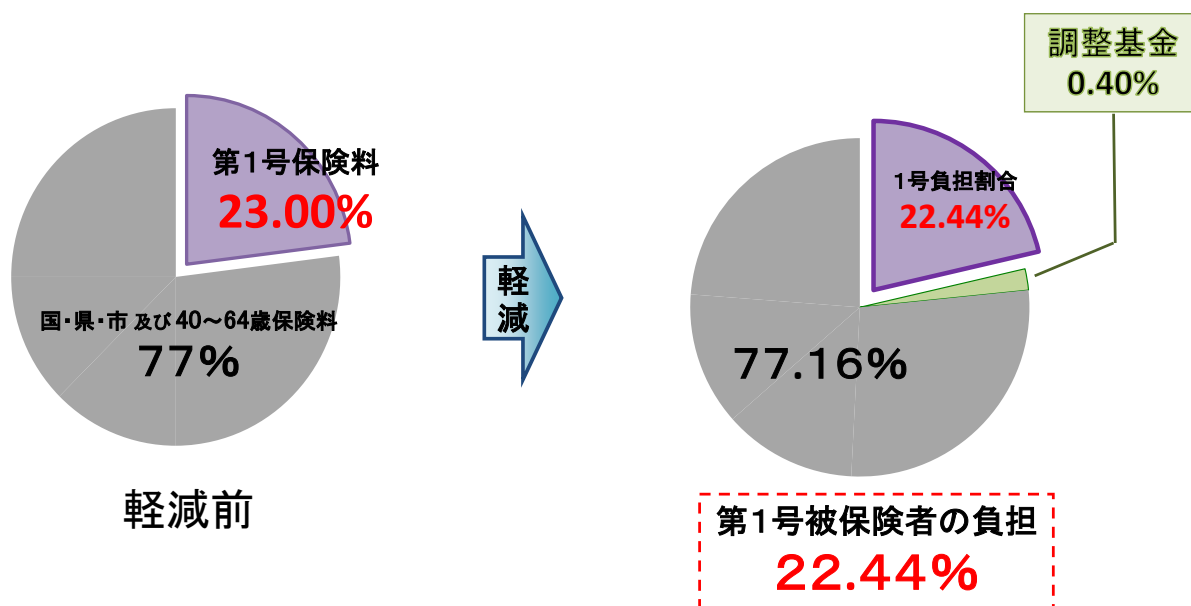
第6期末 調整基金 差引現在高 (6期の利息含む)	501,149
第7期基金積立予定額	144,613
第7期末 調整基金 差引現在高 (見込)	645,762

第7期末の介護保険事業調整基金 残高

645,762千円

約9千万円の基金を投入し、保険料を引き下げる

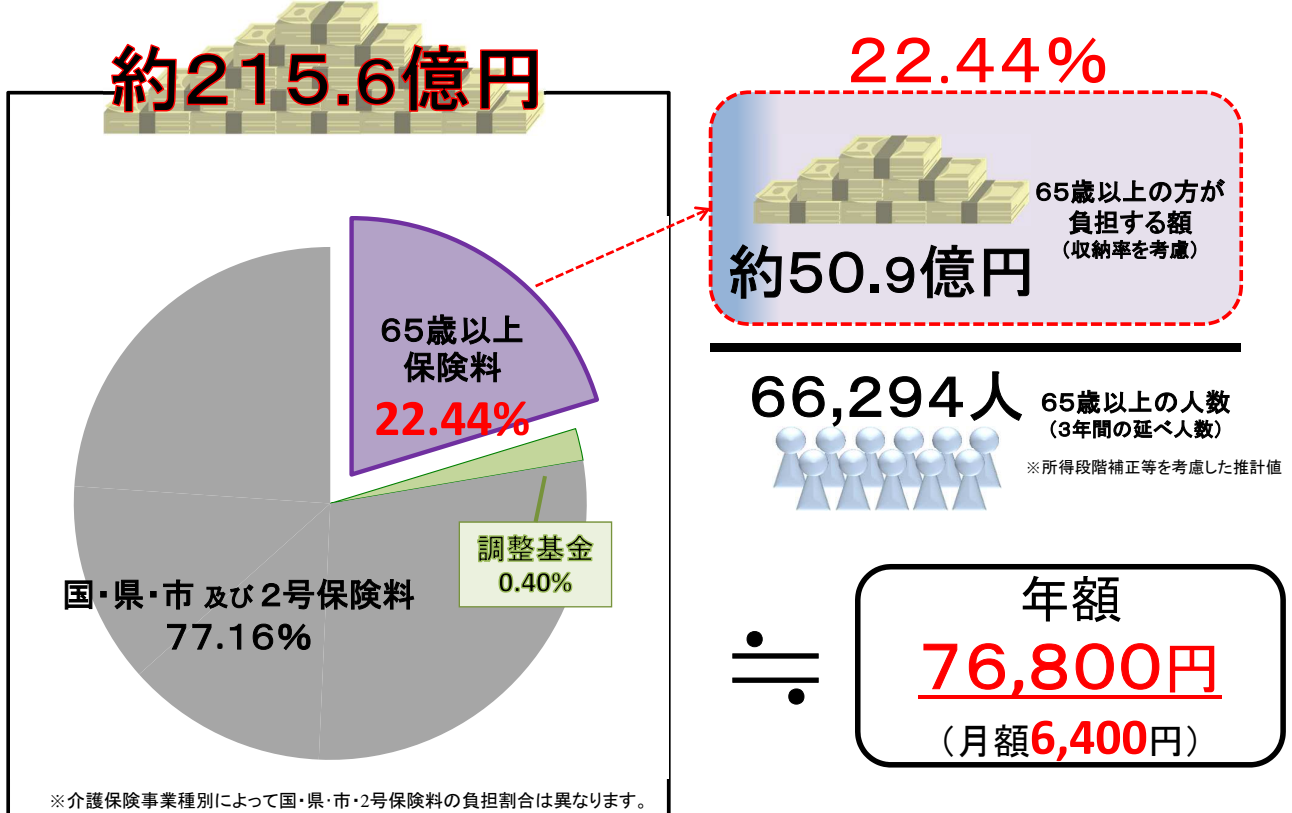
第1号被保険者(65歳以上)の保険料の軽減



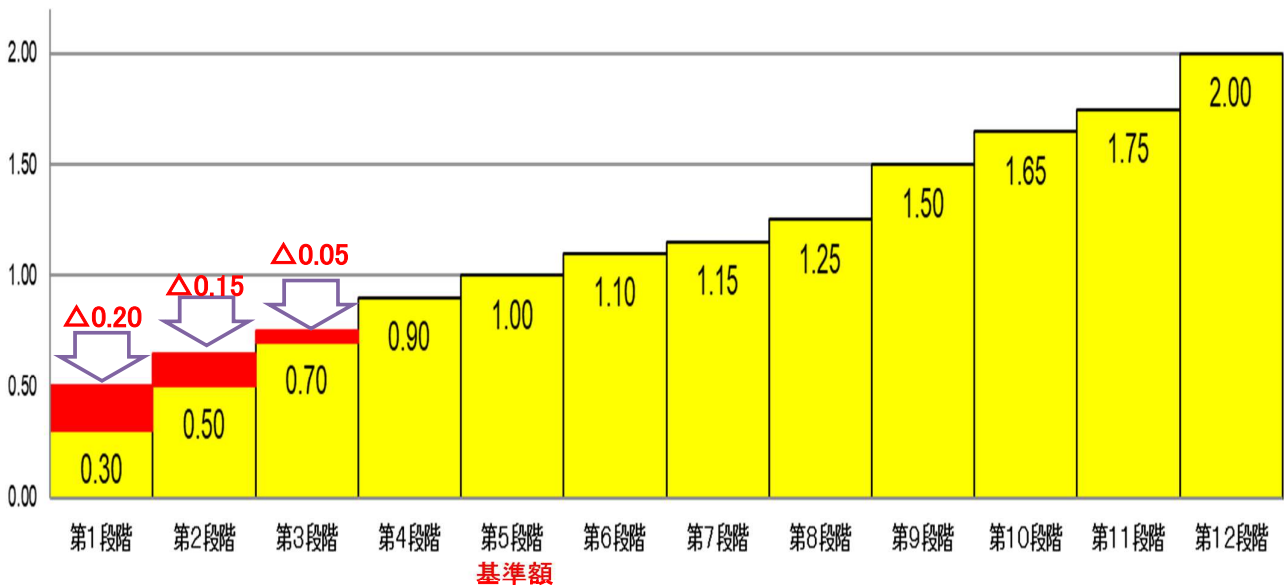
介護保険事業調整基金 第7期計画期間までに積み立てた介護保険料の余剰分の取り崩し

加賀市の第8期介護保険料

3年間に使う介護保険の費用の見込み



第8期介護保険料 所得多段階のイメージ



国・県・市の公費投入により低所得者層の保険料軽減を行うため、基準額に対する乗率を引き下げる。

第1段階の乗率 0.50% → 0.30%
 第2段階の乗率 0.65% → 0.50%
 第3段階の乗率 0.75% → 0.70%

所得段階別の介護保険料

第7期 (令和2年度)

所得段階	乗率	保険料額	
		年額	月額(参考)
1段階	0.30	22,680	1,890
2段階	0.50	37,800	3,150
3段階	0.70	52,920	4,410
4段階	0.90	68,040	5,670
5段階 (基準額)	1.00	75,600	6,300
6段階	1.10	83,160	6,930
7段階	1.15	86,940	7,245
8段階	1.25	94,500	7,875
9段階	1.50	113,400	9,450
10段階	1.65	124,740	10,395
11段階	1.75	132,300	11,025
12段階	2.00	151,200	12,600



第8期 (令和3~5年度)

所得段階	乗率	保険料額	
		年額	月額(参考)
1段階	0.30	23,040	1,920
2段階	0.50	38,400	3,200
3段階	0.70	53,760	4,480
4段階	0.90	69,120	5,760
5段階 (基準額)	1.00	76,800	6,400
6段階	1.10	84,480	7,040
7段階	1.15	88,320	7,360
8段階	1.25	96,000	8,000
9段階	1.50	115,200	9,600
10段階	1.65	126,720	10,560
11段階	1.75	134,400	11,200
12段階	2.00	153,600	12,800

保険料基準額の推移

